



商工のみ

vol.40
2013.1.Jan

能美市商工会
能美市寺井町347番地
TEL(0761)58-4230 FAX57-3510
URL <http://nomi.shoko.or.jp/>



年頭にあたつて

商工会長 田上好道

平成二十五年の新春を会員の皆様には、ご家族お揃いで健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

今後のわが国の景気は、当面横ばい圏内の動きにとどまると思われていますが、国内需要が全体としてみれば底堅さを維持し、海外経済が減速した状態から次第に脱していくにつれて、緩やかな回復経路に復していくことが政府、および、関係機関、エコノミストの間で報じられています。

しかし、市内中小零細企業を取り巻く経営環境は、回復基調の不確実性が極めて高く、依然として厳しい経営状況が続くと予想され、企業のみならず国民は、日本経済の安定を希求しています。

経済の成長なくして国力が保持・伸展することはないでしょう。政治の「経年劣化」により社会・経済構造が大きく変革しようとする時期、原発の在り方や、環太平洋経済連携協定(TPP)、消費税増税、デフレ脱却などの最重要課題に、政治力による成長戦略の実行など成長力強化への積極的な取り組みを期待するものです。

最後に、会員の皆様にとりまして、今年が明るい年になりますよう心からご祈念申し上げ、新春のごあいさついたします。

このような情勢の中、私どもは「商工会は行きます 聞きます 提案します」をキャッチフレーズとして、地域の企業への巡回訪問・指導を徹底し、特に、提案による地域に密着した経営支援サービス、企業ドックによる経営基盤の強化や再生支援に努めています。また、地域資源を活かした地域産品の開発、販路開拓の支援などにより「元気なまちづくり」の推進や地域の活性化・産業振興に積極的に取り組んでいるところであります。

厳しい経営環境ではありますが、様々な中小零細企業支援策を活用しながら、地域の総合的な改善発達をする経済団体として、また、中小企業の支援機関として、豊かな地域づくりと商工業振興のために、確りとその役割を果たすべく努力してまいりたいと思つておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



新年のご挨拶

能美市長

酒井悌次郎

おめでとうございます

謹賀新年

11月22日

輝かしい平成二十五年の新春を迎えるにあたり、会員様をはじめご家族の皆様がお揃いで年明けをお祝いできることを心よりお慶び申し上げます。

会員の皆様方には、日頃より市政に対し温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げる次第であります。

東日本大震災から一年経つといふに、未だ復興の兆しが見えてこない平成二十四年はまさに内憂外患の年であります。内にあつては遅々として進まない東日本大震災からの復旧復興、長引く景気低迷と政治の混迷、外にあつては近隣国との領土問題に起因する政情不安、欧州債務懸念等々であります。

先行きに不透明さを感じつつ、新年への期待感で胸を膨らませながら拝んだ平成二十五年の初日の出であります。

会員の皆様には、今後の投資判断や経営方針を見定めるには極めて難しい判断を要する状況がまだまだ続くのではないかと危惧されますが、「今年こそは明るい一年でありますように」と願うばかりです。



そのような景況感のもと、市内では引き続き大型投資による企業展開が続いていることは、市の活力向上に大変有益な流れを作り出すものと考えております。市民に新たな雇用を生み出し、市内企業への経済的な波及効果を大いに期待しております。

また、本年四月からの川北大橋無料化に始まり、北陸新幹線の金沢駅開業、さらには金沢駅以南の金沢一敦賀間の着工認可が決定したことには、市内への交流人口増大に対する施策を推し進めている中で、産業界にとつて大変心強い追い風となることは間違いないと思われます。

商工会会員の皆様におかれましては、この大きな機会に積極果敢に取り組み、大胆な行動を起こされますことを期待し、市としても積極的に支援を行っていきたいと考えております。

表彰状
共済部門 商工貯蓄共済
能美市商工会 殿

N 第52回商工会全国大会が東京・NHKホールで開催されました。その席上、本会理事の北出秀樹、小坂勇治、室田和夫の三氏が全国商工会連合会長表彰（役員功労者）を受賞されました。

また、事業推進優良商工会に能美市商工会が共済部門（新規加入口数）で高い成果が評価され表彰を受けました。

（共済部門 商工貯蓄共済新加入表彰）

顧監理 副会長
問事事長

熊谷伊辻南北金林染田前辻山嶋宮石池卯津中齋浜室中山喜羽山秋小北山山元上田本口野 野田 谷中多本田嶋本川田野藤田田村本多田本田坂出本山村上

一正正美美ゆ友聖政利壽修晃信繁正秀修淳和晶光和敬憲伊好孝順孝則之郎
郎彦滿紀紀か彰規光明幸 之 樹一三一則義紀夫 宏一郎
子り

東北地域に元気を!!

(宮城県)

建設部会 10月10日～11日

視察レポート



▲被災状況の説明を受ける



建設部会は、東日本大震災により被災した宮城県名取市と山元町を視察しました。名取商工会では被災の大さきかつた閑上地区の現状や被災状況等の説明を受け、今なお仮設店舗で運営している閑上さいかい市場、閑上地区日和山の現地を視察しました。津波によって沢山の建物が流され、跡形もなくなった現場を目の当たりにして、復旧・復興までの道のりは依然陥しく、まだ厳しい生活環境に置かれている状況から震災の大きさを実感しました。

また、ふじ幼稚園を訪問し園児らに九谷焼の三月節句用のひな壇と五月節句用の兜を贈呈し、応援エールを送りました。子供たちの元気な笑顔に勇気を持ち帰った一行でした。

▲ふじ幼稚園
園児らと

九谷部会は、体感!近江商人発祥の地近江八幡市の町並ならびに進化し続ける信楽焼と信楽陶器まつり探訪と銘打つ研修会を実施しました。
①伝統的建造物保存とその景観によるマチづくり②伝統的陶器が時代に合わせ進化する過程③地域と祭りとの関係など、地区内のヒト・モノ・力ネ・情報等をサイクルさせていける仕組みについて学びました。体感研修で相互ににより深く理解できました。



▲信楽陶器まつり



▲(近江八幡市)
ボランティアガイドの説明

ヒト・モノ・カネの サイクル化を学ぶ

(滋賀県)

九谷部会 10月6日

見直そう!かくれた強み

(広島県)

工業部会 10月23日～24日

工業部会は、大企業の環境に配慮した製品づくりと中小企業で不況を克服し、一つの転機の中で新しい分野を開拓し成功している企業の見学会を開催しました。見学した各企業とも転機が一つのキーワードであり、コルクメーカーから転業して大手自動車メーカーとなつた㈱マツダや不況を転機として、創業以来、特殊車両車体製造技術を基本として経営基盤の成長基盤を築き、誰もが注目しながら分野のステップケース修理業へと変遷する第一ボデー㈱など特色ある企業で参考に参考になつた事業者にとつて非常に参考になりました。



▲第一ボデー(株) 長尾社長

先端人生との能美丸企業見学キャラバン

■交流委員会

10月5日・11月9日

交流委員会は、産学官連携強化交流事業の一環として、今年も北陸先端科学技術大学院大学生を対象に、市内の企業訪問を実施しました。企画の内容は、魅力あふれる市内企業を訪問し、先端技術・就業機会の良さや生活環境の良さをアピールすることで、有能な学生を市内に定住させ、能美市の産業力を向上発展させることが目的です。ご協力いただき、学生たちと積極的に質問・意見が交わされました。また大学を市内に有する能美市ならではの事業です。

【協力企業】
●フジタ技研㈱
●㈱東振精機㈱
●㈱オノワード技研
●根上工業㈱
●㈱加賀東芝エレクトロニクス㈱
●㈱中東小松精練㈱
●㈱LINSヨシダ(有)
(ありがとうございました。)

熱い想いがまちを変える

(福井県)

交流委員会は、福井県武生商工会議所及び同市内の㈱木工房「蔵」を視察しました。同商工会議所では農商工連携等新規事業展開について積極的に取り組んでいる先進事例について伺うことが出来ました。また、企業視察㈱木工房「蔵」では福井県産の間伐材等を活用したブライダルギフト手作りサービスや木工品の開発販売事業について学びました。地域のもつ潜在力を新たな視点で引出す、同社の開発意欲に参加者は大変感激を受けた研修となりました。



ピンチをチャンスに!!

社員の提案にヒント有り

建設・鉄工部会

建設部会と鉄工部会は十一月二十九日、「ピンチをチャンスに変えよう」と題し、講師に株マネジメントコンサルティング代表取締役の大河滋氏を迎えて講演会を開催しました。

大河氏は、自動車業界の歴史を振り返りながら、

引き出そー!!社員の潜在能力

企業力向上策

工業部会

工業部会は十一月二十二日、「企業力向上策」社員の潜在能力を引き出す方法」と題し、株サクセスブレイン池田剛氏を迎えて、講習会を開催しました。

事業活動をする上で「凡事徹底」と社員に対する気づきについて、話題と関係するフォーマットを通して、わかりやすく説明いただきました。

脳と心の老化を防ぐ10ヶ条

- 1人と交流する
- 2未来日記を書く
- 3運動する
- 4旅行をする
- 5歯大切にする
- 6嫌なことほとんど忘れる
- 7芸術・音楽・自然にかられる
- 8手指や顎を動かす
- 9本は声を出して読む
- 109ときめきを忘れない

経営者そのための笑つて迎える古い支度

九谷・織維部会

九谷部会と織維部会は合同で十月二十三日、「経営者の超高齢化社会に立ち向かうコツ!」と題し、石川県社会福祉事業団理事長である稻手信次氏を迎えて講習会を開催しました。

超高齢者社会を迎える「笑つて迎える古い支度」として癌・認知症・介護等のコツを川柳や事例を取り入れながら話されました。

「どういう企業にしたいのか?」「社員とどれだけ話をされているのか?」「社員の提案を生かすことが大事である」と指摘されました。

又、社員に納得される経営理念をつくることの重要性を説かれ、たくさんの方にヒントを頂きました。



▲大河滋講師

企業の業績を支えるものは内部環境の中にある。重要なポイントは、すべて「人材にある」と述べられました。今後の取り組みとして、人材育成をあげ、「中小企業は限られた人材をいかに活かすかである」と締めくくられました。



▲池田剛講師



講習会レポート

講習会で経営力UP!

時局講演会

日本経済



▲内田裕子講師

相続戦略セミナー

相続を「争族」「争続」にしないために

十二月六日、野村経営税理士事務所代表野村重之氏による相続講習会を開催しました。

「ワチは相続税がかかるほど財産ないしね」と思っている方も多いかもしれません。が、今回のセミナーは、誰もがいつ起ころか分からぬ、100人中100人の方が必要とされる、揉めないための「相続対

策」や「生前贈与」等について、事例を取り入れながら大変分かり易い講習会であり、受講者は関心を持って真剣に聞き入つておりました。

正に「相続」を「争族」にしないために、講習会終了後にも多くの質問や相談が寄せられ、相続に対する反響は大変大きいものでした。



▲野村重之講師

話題広がる笑顔広がる ワンランク上の会話術

サービス部会

サービス部会は十一月二十六日、株島久美氏を迎え、接客講習会を開催しました。「心をつなぐコミュニケーション、コミュニケーションをテーマに接客で信頼感を高める会話

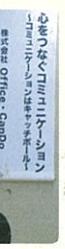
のコツを学びました。また、身だしなみや言葉づかい、電話応対のマナーも含めた会話のセンスがワンランク上を目指す接客的重要性を説明されました。



▲矢島久美講師

コミュニケーションとは会話

のコツを学びました。また、身だしなみや言葉づかい、電話応対のマナーも含めた会話のセンスがワンランク上を目指す接客的重要性を説明されました。



▲矢島久美講師

地産地消を目的に誕生したご当地グルメ『のみどんぶり』は、県産業展示館で開催された「いしかわ食のてんこもりフェスタ」に出店し、能美市のPRと今後の誘客に取り組みます。これからも『のみどんぶり』の普及啓発とまちを元気にするために多くのイベントを計画していく予定です。



今、注目の元気なまちづくり事業は能美市の魅力を積極的に発信し、地域活性化に取り組んでいます!!

元気トン豚『のみどんぶり』

『のみどんぶり』は、県産業展示館で開催された「いしかわ食のてんこもりフェスタ」に出店し、能美市のPRと今後の誘客に取り組みました。

のみよし+ONE

誕生5周年プレミアムキャンペーン中

能美市ブランド第一弾、本格丸いも焼酎「のみよし」が5年目を迎え、これまでのご愛顧に感謝の気持ちを込めキャンペーンを開催中です。関連商品3千円以上お買い上げの方にスタンプ1個、6個貯まると、のみよし一本をプレゼントします。



実施期間は**1月31日(木)**迄です。是非この機会にお買い求めください。

『プレミアム商品券』 好評のうちに完売!

のみのみのみ元気セール

元気なまちづくり補助事業のみ・のみ・のみ元気セールプレミアム商品券が好評のうちに完売しました。一万円で一万一千円分の商品券を購入でき市内の商品券取扱店でご利用になります。個人消費が低迷する中、市内での消費喚起に繋がつたのではないでしょうか。尚、ご使用いただけるのは**1月31日(木)**迄です。

歳末助け合い入札展が十二月七日から九日、寺井地区公民館で開催されました。本会業種部会・青年部・女性部のご厚志（二十五万円）と合わせた益金一、二二六、八四九円は十二月十九日に社会福祉に役立て頂く為能美市へ寄付させていただきました。ご寄付を頂きました皆様には感謝し、深くお礼申し上げます。



青年部報告

次期青年部組織体制
角谷 健司 次期部長候補に選任

青年部は10月26日、辰口福祉会館において平成24年度臨時総会を開催し、次期青年部長候補に角谷健司氏（ドヤ宝石・時計販売・め力角谷）が選ばれました。満場一致で選を売りました。

あなたの会社の資金繰り大丈夫?

- 金融円滑化法の期限終了に伴い、金融機関の対応が厳しくなるなどの懸念が指摘されています。
- 売上や利益と月ごとの借入金の返済額を検討していただき、返済負担が重いようであれば、金融機関と返済条件の変更や借替の交渉をされることをお勧めします。

【資金繰りや経営の見直しをご検討の方へ】

返済方法の変更と経営改善は一体のものです。

- 借入金の見直し
- 経営改善計画の策定
- 資金繰り表の作成
- 制度融資・政策金融のあっせん

まずは商工会へご相談下さい!

※ご相談は無料で秘密は厳守します。

中小企業円滑化法は

平成25年3月で
最終期限を
迎えます!



まずは、身近なテーマからはじめよう
商工会の中小企業支援ネットワーク強化事業で
「経営課題の解決」



緑が丘の住宅地に建つ「赤い屋根」と「エンツ」が目印です。

笑顔が見えるパンづくり

モンドール(緑が丘)

代表 栗山 悟さん

営業:7:00~19:00 定休日:日曜日

TEL:51-5665 http://mondor.moo.jp



店長おすすめ!!

いちばん人気は
「にんじん食パン」
ご来店お待ちしてます

かねてより「お店のディスプレイを見直したい」という思いから、中小企業支援ネットワーク強化事業を活用させていただきました。

真っ先に指導してほしいと思っていたのが、パンの魅力をより視覚的に発信する販売促進の手法『POP』です。これまで学んだ経験がなかったことと、あまり重視ていなかつた分野でした。そんなわたしが、雑貨屋さんであたたかなメッセージを添えた手書きのPOPに接してから心が弾けました。「やってみよう！」と。

そんな矢先、タイミングよく巡回指導で来られた指導員さんに相談しました。するとスピード対応していただき、専門家の派遣指導を受けることになりました。この手書きのスキルを身に付けたくて真剣勝負。筆ペンを持つ手にも力が入りました。講師の先生からは、文字の書き方のコツから、紙の素材、ペンの種類の使い分け、POPの役割など多岐に渡りやさしく指導して頂きました。

手書きのPOPは、優しく温かみがあり、手づくりパンと相性もよくおかげでお店の印象が随分変わりました。

店内に変化がほしいと悩んでいた頃と格段の違いです。新規リピーターも確実に増えてきました。

お客様から「美味しいように書かれているわね」と、言われる度、励みとなり元気をもらっています。

健康・安全・安心をキーワードにパンの魅力を発信していきたいと今日もアイデアを練っています。これからも手づくりパンで健康と笑顔をお届けしてまいります。

中小企業支援ネットワーク強化事業とは

中小企業支援ネットワーク強化事業では、中部経済産業局が選定した中小企業支援ネットワークアドバイザーが県内の商工会等を定期的に巡回して、商工会の経営指導員と共に相談企業の高度・専門的な経営相談に対応し、必要な場合はさらに専門家の派遣により、中小企業が抱える課題の解決を図ります。

こんな
思いされて
ませんか?

相談料は無料です!お気軽にご相談ください。

[相談事例]

- 我が社の強みって何だろう。
- 商品開発や販路開拓の助成制度の申請を考えたいけど。
- どのタイミングで経営を譲ったらしいのだろうか。
- 自分のところも海外展開しない生き残れないのだろうか。
- 他社にはない技術・商品があるのにどうして売れないんだろう。
- 一度相談したこともあるけど別の視点でアドバイスが欲しいが。
- 悩みはたくさんあるけど、どこから手を付けたらいいか分からない。

など

☆今年こそ商工会を活用しよう!
新年明けましておめでとうございます。
気候・金融・政治が安定し、景気が回復する事等、願い山積の一年がスタートしました。より一層知恵と力を出し合い乗り越えて行かなければならぬ毎年になります。
会員の皆様には平穡無事な一年になります。
よろしくお願い致します。
元山 利朗
広報委員長

部会総会	サービス部会	九谷部会	商業部会	工業部会	鉄工部会	織維部会	建設部会
2月中旬	2月22日	2月28日	2月8日	2月中旬	2月21日	2月22日	

商工会スケジュールチェック

中旬	14日(木) 15日(金) 17日(日)	女性部福祉事業「おはぎづくり」 能美山中広域役員研修会 商工会珠算検定
2月	18日(月)～22日(金)	商業部会ベトナム視察研修 産学官意見交換交流事業
1月	22日(火)	第5回理事役員会 能美山中広域会長副会長研究会